

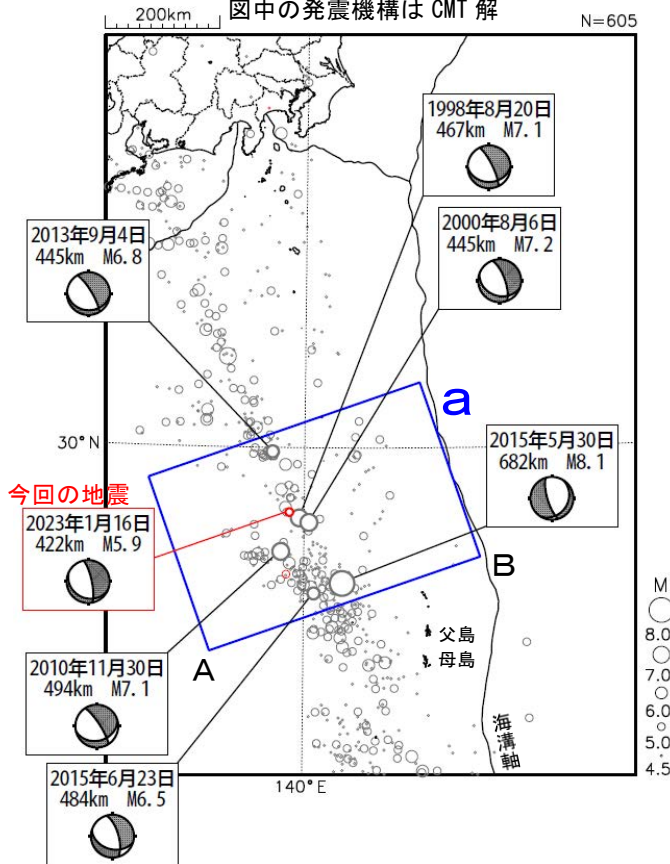
1月16日 小笠原諸島西方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2023年1月31日、
深さ100～700km、 $M \geq 4.5$)

2023年1月の地震を赤く表示

図中の発震機構はCMT解

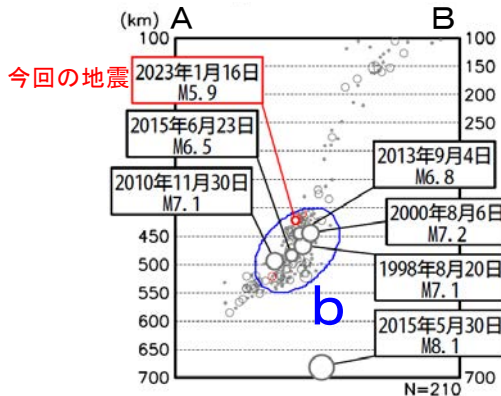


2023年1月16日13時49分に小笠原諸島西方沖の深さ422kmで $M 5.9$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、太平洋プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

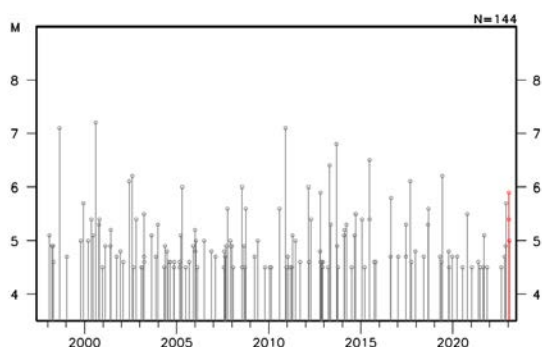
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。また、今回の地震の震源から約250km深いところでは、2015年5月30日に $M 8.1$ の地震（最大震度5強）が発生し、軽傷8人などの被害が生じた（総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 7.0$ 以上の地震が時々発生している。1984年3月6日には $M 7.6$ の地震が発生し、死者1人、負傷者1人などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

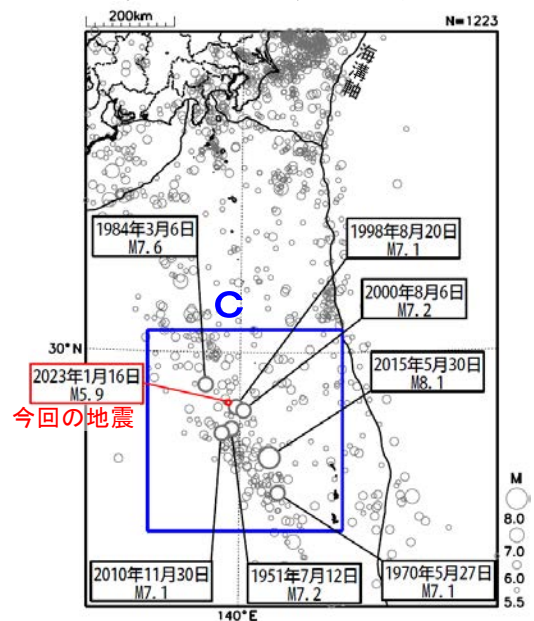
領域a内の断面図（A－B投影）



領域b内のM－T図



震央分布図 (1919年1月1日～2023年1月31日、 深さ0～700km、 $M \geq 5.5$)



領域c内のM－T図

